

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちやいさぼ教室			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		～	2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		～	2026年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日			

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い個別と小集団療育。	ひとりひとりの発達特性にあわせ、5領域を網羅したオリジナルの療育を実施。	より専門性の高い療育を目指し、専門研修などへの参加を強化し、プログラムの見直しに繋げる。
2	保護者との関係性。	保護者の困りごとに寄り添い、家庭でできる取り組みを伝えるなど信頼関係も大切にしている。	職員間での情報共有に努め、関係機関とも密に連携して支援する。
3	職員の専門性の高さ	経験5年以上の職員や保育士、幼稚園教諭、教諭、心理師など、専門性の高い職員が療育を担当している。	学会や専門研修への参加を通して、療育内容や教材の見直し、ICTを活用した療育への取り組みなどを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援の利用日が少ないので利用できない人がいる。	多機能型なので、未就学児が就学して放課後等デイサービスに移行するから。	キャンセル待ちやスポット利用、保育所等訪問の利用を優先するなどして対応する。
2			
3			